



# 手をとりあって

【文責】

かとう学園 Co  
高田 英也

## 思いや夢の実現に挑戦する児童生徒の育成

### ～宗像市小中一貫コミュニティ・スクールかとう学園研究発表会～

日一日と寒さが深まってまいります、地域・保護者の皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本学園では、令和5年度より宗像市教育委員会の指定を受け、研究実践に取り組んできました。授業研究では、研究主題を「思いや夢の実現に挑戦する児童・生徒の育成」、副主題を『自己決定を位置付けた授業づくりと地域を元気づける「かとうドリム学習」の展開を通して』として研究を進めてきました。令和5年度は、児童・生徒が学習の主体となるよう対話や振り返り、自己決定を中心に授業を展開しました。令和6年度は、これらに加え、各教科等の目標を児童・生徒が主体的に考える場面を増やし、目標達成のためにかとう学園の「人・もの・こと」を活用したり、協働したりしながら粘り強くやり遂げる児童・生徒の育成に取り組んできました。これまでの研究の成果の一端を10月25日(金)に授業及び全体会において公開いたしました。

#### ◆公開授業◆

研究発表会では、教科・道徳・総合・生活単元・自立活動の公開授業を行いました。総合学習では、「地域活性」「キャリア教育」を柱に、系統性のある「かとうドリム学習」の単元の構想を練り、GT(ゲストティーチャー)を地域の中から掘り起こし、授業に臨みました。子どもたちは興味をもって学習に参加していました。



【河東小5年総合・授業の様子】



【河東中7年総合・授業の様子】



【河東西小6年総合・授業の様子】

#### ◆全大会 児童・生徒と大人の語り場◆

### 「KATO Chit Chat Cafe」～ここからつながる 未来への語り場～

【河東小】6年生が今の自分を見つめ、なりたい自分を実現するために、どんな職業があるのか知り気づいたことを語ることで、これからの自分の生き方や目標を見出していきました。

【河東西小】6年生が学園運営協議会委員や地域の方、保護者等との対話を通じて、多様な価値観に触れたり今の自分を見つめたりして、自己理解を深めました。

【河東中】小中一貫教育最終学年の9年生が、地域の方や来校者に自分の将来を語りました。



【河東中・自分史発表会】



【河東西小・トークフォークダンス】



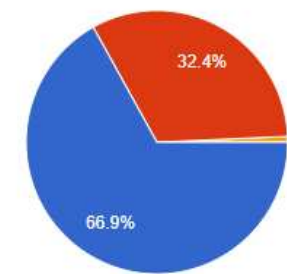
【河東小・かとうドリカムプロジェクト】

## かとう学園研究発表会を振り返って

### ～参観者アンケート結果から～

発表会当日は、宗像市内だけでなく、福岡県内外からもたくさんの参観者をお迎えし、無事、盛会のうちに終えることができました。多くの参観者からお褒めのお言葉をいただき、子ども達の大きな成長を実感したところです。参観者アンケート結果の一部を紹介します。

#### Q 思いや夢の実現に挑戦する児童生徒の姿が表れていましたか。



○ 地域が子どもたちに将来の夢をもち、希望にあふれるように学校と協力して下さる仕組みがとても羨ましい。また、子どもたちがふるさとを愛し、活性化のことを考えようとしていることがとてもよかった。学校にこの取り組みを持ち帰りたかったです。

○ 地域とともにある学校づくりには、多くの仕組みが必要で、子どもたちと地域をつなぐことにはカリキュラム・マネジメント、全体計画等、多くの細かい準備が必要だと思います。今日は子どもたちのおもてなしの心をさまざまな場面で見ることができ、日ごろからこういった「誰かのために」「地域のために」「地域とともに」「地域の一員として」という軸での教育活動が多く仕組みされているのだろうと、そのよさを感じることができました。